



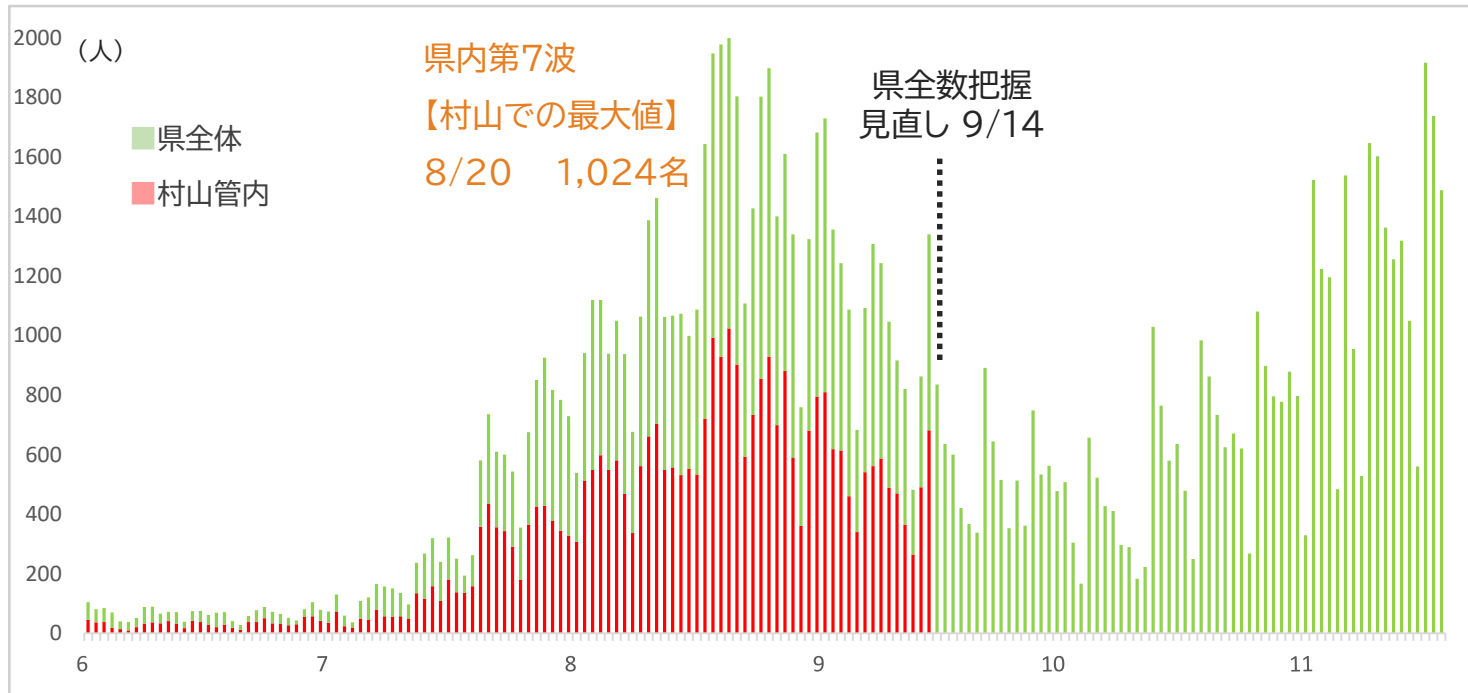
村山総合支庁管内の取組状況等について

令和4年11月22日(火)
村山総合支庁

- 1 管内の新型コロナ等の状況
- 2 ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた
若者定着の促進
- 3 結婚・子育ての取組み
- 4 むらやま森林ノミクスの推進
- 5 ICT等を活用した農作物被害対策(鳥獣被害)
- 6 地域の話題

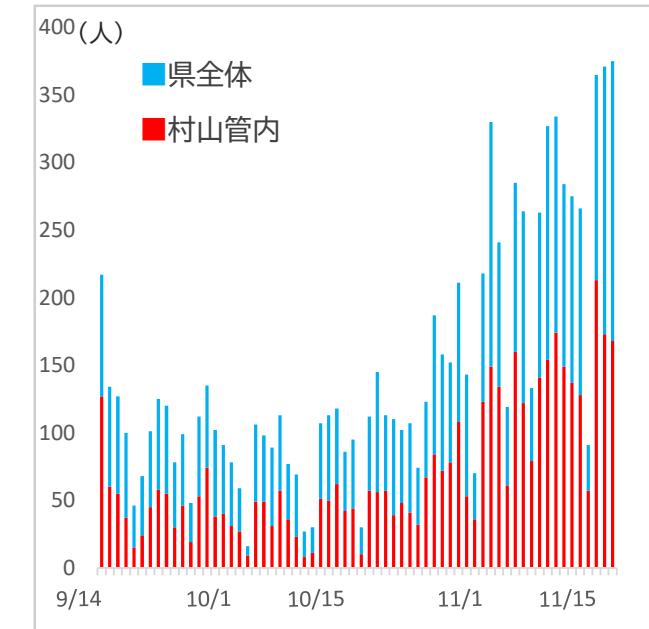
1 管内の新型コロナ等の状況

感染者数の推移(R4/6/1~11/17)



発生届出人数(9/14~11/17)

村山管内4,516人(全県9,362人の48.2%)



最近の動向

- 県全数把握見直しにより、1日に数百名いた対象者が、平日90~140名、土日祝日30~80名程度となった。

【見直しによる課題】

保健所へ届出以外の陽性者の個人情報がないため、そのような陽性者からの相談や各種調整に時間を要する。

【見直しによる利点】

保健所の負担軽減

- ① 疫学調査・健康観察対象者数の減少(全陽性者の約2割)
 - ② 高齢者等ハイリスク者への対応に集中できる。
- 11月以降、感染者が急増し、直近1週間の人口10万人当たりの感染者数は、全国で1~2位が続いている。

対応

- 高齢者施設における4回目等のワクチン接種の促進
- 保健師によるクラスター発生施設における現地指導、検査体制の確保などのクラスター対策の実施
- 自宅療養者への電話診療を、必要時に継続してもらえるよう医師会に依頼し、必要な調整を実施
- 高齢者施設等職員の感染予防策の確認や入所者等に対する医療の迅速かつ的確な提供を行えるよう、事例・症例検討会(メンバー:地区医師会推薦の医師や重点医療機関の医師)を開催。メンバーは高齢者施設のクラスター発生時など、必要時に診療支援や助言を実施。
⇒「村山地域新型コロナウイルス感染症タスクフォース」第1回:9/20 第2回:11/30

1 管内の新型コロナ等の状況

管内事業者における新型コロナ、物価高等の影響

製造業

- 製造する品目や取引先によって生産状況にばらつきはあるが、原材料高騰や電気料金の値上げの影響が経営を圧迫している。
- 精密電子機器等の製造企業では、受注は多く受けているが、部材が揃わず生産が滞っている。
- 生産機械等の製造企業では、生産状況は繁忙であるが、求人を出しても増員できず、また原材料の高騰分を価格転嫁できていない。
- 自動車用等の樹脂製品製造企業では、樹脂材の仕入値が年初から1.6倍となり、価格転嫁は5割程度できたが、製造機械の消耗品等の副資材や電気料の値上がり分の価格交渉が困難で苦慮している。

飲食業

- 新型コロナ感染者の全数把握見直し後、来客数の増加や団体利用の回復が見られる一方、平日の利用や法人の利用がまだ戻っていない地域もある。
 - プレミアム商品券が発行されている地域では来客数の増加に効果が見られ、全国旅行支援開始に伴い他県からの利用者も増加傾向にある。
 - 原材料の高騰に加え、光熱費等の高騰にも苦慮している。
- 【運転代行業】
- 宴会や会合の回復に伴い依頼数は増加傾向にある。

観光業

- 宿泊施設・立寄施設ともに、前年に比べ客足は戻っているが、コロナ禍前までには戻っていない施設が多い。
- 客足が戻っている要因として、県民割や全国の旅行支援の影響が大きいとの声が多い。
- 外国人旅行者については、徐々に増えており、今後増加していくことに期待する声がある。
- 原材料費や燃料費などの価格高騰により経営への影響が大きくなっていると訴えている施設が多い。

2 ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた若者定着の促進

村山管内の現状・課題

【管内高校卒業者の就職状況】(出典:学校基本調査)

卒業時期	卒業者	就職者	就職率
H13.3卒	6,611人	1,668人	25.2%
R3.3卒	4,866人	1,130人	23.2%

【管内大学卒業者の就職状況】(出典:村山総合支庁調べ)

卒業時期	卒業者	就職者	県内就職者	県内就職率
H30.3卒	1,568人	1,282人	392人	30.6%
R4.3卒	1,565人	1,272人	398人	31.3%

- 高卒者の就職者はH13年(20年前)との比較で3割以上減少し、産業界の人材となる高卒就職者の絶対数としても大幅に減少
- 大卒者は県内就職率が3割程度と低く、就職時の県外流出が課題

人材確保に関する関係者の声 (村山総合支庁聴き取り)

製造業	<ul style="list-style-type: none"> ● 高卒の就職希望者は少なく、競争が厳しい。採用は難しいので中途採用や高齢者の再雇用で人材を確保して凌いでいる。 ● コロナ禍で県内企業を知るイベント・機会が減少し、県外から来た大学生が知らないまま県外に戻ってしまうので、企業を知る機会を作るべき。 ● コロナ禍で採用活動もオンライン化が進み、首都圏の企業に就職しやすくなっており、企業の魅力を伝える重要性が増している。 ● 外国人技能実習生の入国が再開しているが、募集人数に満たないことがあり、円安の影響ではないかと感じている。
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ● 除雪オペレーターは季節雇用も多く、就農人口の減少等で新たな担い手の確保が困難。ICT活用などの生産性向上や働き方改革で、新3K(給料がよい・休暇が取れる・希望がもてる)を推進して欲しい。
商工団体	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒の就職には保護者が大きな影響力を持つが、保護者の持つ企業情報が古い場合もあるので、新しい企業の姿を保護者にも伝えていく必要がある。
高校	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍で職場体験等の企業を知る機会が減少している。得た企業情報については、生徒や保護者にしっかり伝えたい。

村山総合支庁の取組み

働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業の実施

- 山形大学の学生が、地元企業とそこで働く若者を取材し、村山地域で働くこと、暮らすことの魅力をInstagramで発信(10/14から順次公開) #よしよしむらやま
- 今年度は動画による情報発信も取り入れ、大学生が、若者の目線で、同世代に対し地域の良さをわかりやすく伝えていく。



学生の取材の様子

地域産業理解促進事業の実施

- 主に進学校の高校生を対象に地域で働く先輩によるセミナーや企業訪問等を実施(6校で順次実施中)



高校生の学習の様子

【企業向け】インターンシップ対策セミナーの開催(R4新規)

- コロナの影響等で採用活動のオンライン導入が必須となる中で、オンラインで行うべきこと、対面でのインターンシップで行うべきことを区別・整理したうえで、インターンシップの効果的な手法等を学ぶセミナーを11/10に開催

建設業に係る特別課外授業の実施

- 建設業協会青年部が、建設業界の若い担い手確保のため、山形工業高校で特別課外授業を実施
- 授業では、VRを活用した鉄筋の確認などの最新技術紹介や、同校を卒業した先輩達からの講話等、建設業の魅力を伝えるとともに、地元への就業をPR



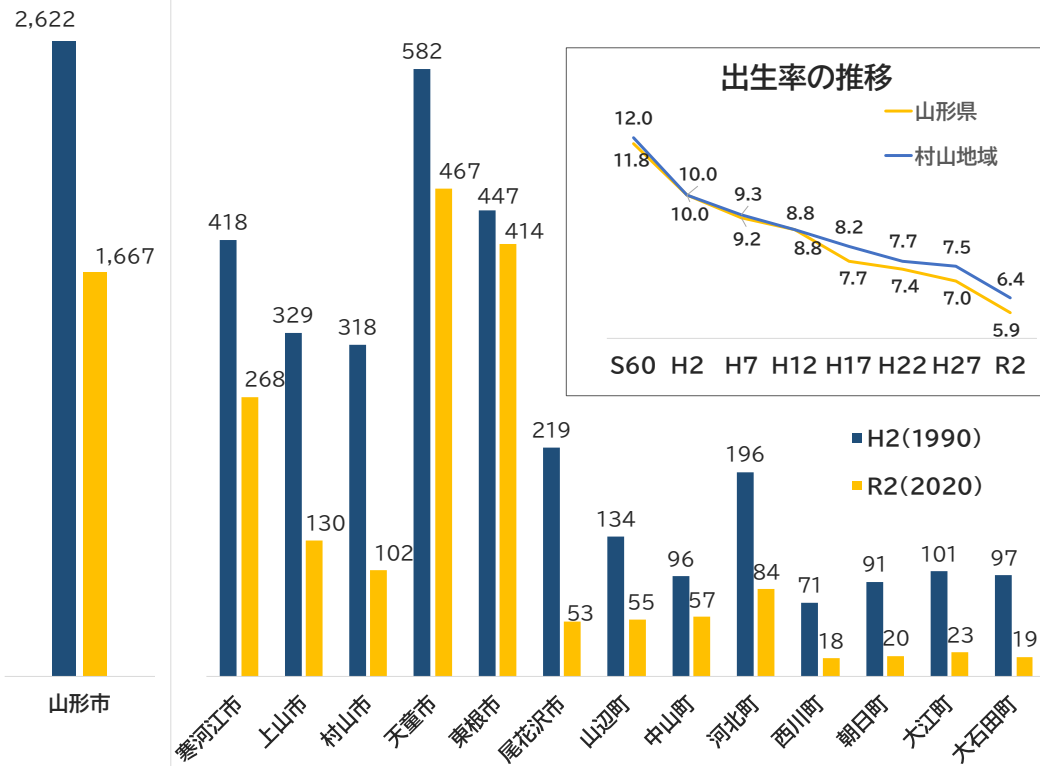
【今後の取組み】

- 高校・商工団体と連携し、大学生だけではなく、高校生や保護者等にも管内の優れた企業の情報を届けていく。
- 動画の活用等により、コロナ禍で直接実感できない企業の優れた技術や県外から就職した若者の生活、村山地域ならではの魅力にも焦点を当て、県外出身の学生にもわかりやすく伝えていく。
- オンラインの採用活動が定着する中で、ポストコロナではインターンシップが拡大し、その重要性も増すと見込まれるため、オンライン・リアル両面における企業の取組みをより一層支援していく。

3 結婚・子育ての取組み

現 状

出生数の推移 (H2 ⇒ R2)



市町では様々な施策を実施

	山形市	寒河江市	山市	村山市	天童市	東根市	尾花沢市	山辺町	中山町	河北町	西川町	朝日町	大江町	大石田町
出産祝い品(金)の贈呈		○祝金		○祝金			○祝金 記念品			○祝金 記念品	○祝金 商品券	○祝金 ギフト券	○祝金 商品券	○祝金
おむつ代の助成											○		○	
保育料の無償化(第3・4区分)	△一部負担有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療費無償化(高校生は入院のみ)	中学生	○	○	○(高校生は入院のみ)	○	○	○	中学生	○	○	○	○	○	○
学校給食費の無償化(小中無料)	○			△第3子以降	△第3子以降		△半額・第3子以降	○	○	△半額	○		○	
市町独自婚活イベント	補助	補助	○	○	補助	補助	○	補助			○	○	○	
結婚サポーター等の活動支援	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
移住・交流人口の拡大対策	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

BUT

政策競争は限界

市町共通の最大の課題⇒少子化・人口減少

影響

- ・経済成長の低下
- ・子どもの教育環境への影響
- ・社会保障の負担増
- ・地域コミュニティ機能の低下

【要因】 若者の出会いの機会の減少、子育てにかかる負担増、若者の県外流出の加速

3 結婚・子育ての取組み

若者の出会い応援

- 管内11市町や民間団体と連携した広域婚活事業を実施(H27~)

特徴

- 地域資源を活用した体験型の婚活イベントを事前講座とセットで開催
- カップル成立後はSNS(LINEによる相談対応)で交際継続を支援 (R3:5回実施、カップル成立16組)

課題

- 女性参加者が少ない。
- 多人数参加の単発イベントはたくさんの異性と知り合えるが相手を深く知ることができない。⇒ **カップル成立しても交際に発展しにくい!**
- 連携不参加の自治体がある。

【令和4年度】

- 交流が深まり相手の魅力を知ることができるよう、同じ参加者が日にちを置いて2回交流する形式のイベントを開催(蔵王(9/4)、天童高原(9/25)トレッキング体験) → **男女計16名参加、カップル3組成立**
- 複数人参加の場合の割引(女性限定) → **定員を超える女性の応募あり**
- 地域全体の取組みとなるよう不参加自治体へ働きかけ

- 10. 8(土) 和菓子作り体験 → **男女計23名参加、カップル5組成立**
- 11. 5(土) そば打ちde婚活 → **男女計29名参加、カップル1組成立**
- 11.23(祝) 味噌づくりde出逢いづくり
- 12. 3(土) リースづくりでクリスマスコン



<参加者の声>

- 行政主体だから安心
- 広域なので参加しやすい。
- 2回セットなので相手をよく知ることができた。

村山地域みんなで子育て応援団

- 管内14市町や子育て支援団体、村総とで応援団を構成し活動を展開
- 子育て支援者の資質向上に向けた研修会開催(R4.11情報交換会、R5.1研修会)
- HP「むらやま子育てナビ」により地域子育て情報を発信

村山地域みんなで子育て応援団 学習交流会

オンラインで開催します!

沙見稔幸先生とめえよう!

コロナ禍の子育て支援に大切なこと ~日々の関わりを通して~

令和3年11月4日(木)14:00~16:00
14:00~15:00 沙見稔幸先生 ご講演
15:00~16:00 情報交換
研修会(R3)

令和4年度「村山地域みんなで子育て応援団」育休復帰の取組み

育休ママのための
職場復帰
応援セミナー

9月20日(火) および 9月28日(水) 10:00~11:30

職場復帰の取組みについて

むらやま子育てナビHP

むらやま子育てナビHP

お知らせ

2022年10月14日 子どもの居場所づくり活動について

2022年10月14日 子どもの居場所づくり活動について

2022年10月14日 子どもの居場所づくり活動について

子育てのイメージ向上

- 高校生に乳幼児とのふれあいや子育て中の保護者との交流、保育の仕事の体験機会を提供(会場:子育て支援拠点施設)

【令和4年度】 ※3年ぶりに実施

- 高校生が気軽に申し込めるようe申請を導入
- コロナ禍で子育て支援拠点施設の利用が制限される中、一緒に活動するグループの人数を減らしたり、交流期間を短縮するなど内容を工夫して実施 (7会場、7校16名参加(申込35名))

<参加者の声>

- 将来子どもができた時にどう触れあったらよいか勉強になった。(高校生)
- 新米ママで、これまで教えてもらう立場だったが、高校生に自分の育児について伝えることができ、自分に自信が持てた。(保護者)



子どもの居場所づくり

● 環境づくり

「子ども食堂」は貧困家庭の子どもが行くところという負のイメージを払拭⇒実践団体がどんな活動をしているのか知ってもらう。

- 「子どもの居場所ニュース」の発行(活動の様子を取材、村山総合支庁ニュースにシリーズで掲載、管内の小中学校等に総集編を送付)
- HP「むらやま子育てナビ」で子ども食堂の開催情報を発信



子ども食堂

● ネットワークづくり

「子どもの居場所」関係者の顔の見える関係づくりと、企業等との連携を推進

- R3:学習会の開催(3回開催、実践者等延85名参加)
- R4:協働推進会議の開催(R5.1月開催予定(参加者:実践者、企業、市町等))



学習会(R3)

● 運営基盤強化

企業や団体に「子ども食堂」等を実践している団体への支援を働きかけ

企業や団体向けのチラシを作成し商工会、商工会議所、企業等を訪問

村山地域の企業、団体みなさんへ

子どもの居場所づくり活動
応援してくれる方を
募集しています!

子どもの居場所づくり活動とは?

子どもの居場所づくり活動とは?

子どもの居場所づくり活動とは?

子どもの居場所づくり活動とは?

企業向けチラシ

4 むらやま森林ノミクスの推進

西山杉の特長と課題

【西山杉の特長】

- 山形県西村山地域から産出される木材
- 特に赤身の色彩の鮮明さは高い評価を得ている。
- 材質が固めで加工しやすく、構造材のみならず、内装材や家具材など様々な用途で使用されている。



河北町役場 議場
(内装・圧密加工材家具)



やまぎん県民ホール
(不燃抗菌突板化粧板)



一般住宅
(構造材・羽柄材等)



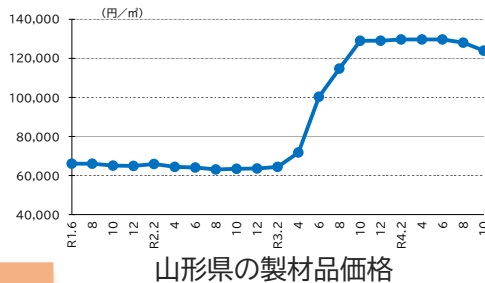
利用者の声

- 赤身の美しさから、店舗オブジェ製作に使用した。顧客からとても良い評価をいただいた。(看板製作会社)
- 他の杉材に比べて加工がしやすいため、とても重宝している。(住宅施工者)

【社会的な動向】

- 製材品価格の大幅な上昇
- カーボンニュートラル社会の構築やSDGsへの関心の高まり

更なる認知度向上による地域材利用拡大の好機



しかし

- 原木の安定供給体制が整っておらず、木材需要の増大に供給が追いついていない。
- 管内に乾燥施設を有する製材所や大規模な製材所が少なく、納材に時間を要する。

高い評価を得ているにも関わらず、川上から川下への流通がスムーズに行かず、更なる利用拡大になかなか結び付かない。

推進体制

【地域材活用のための具体的な取組み】

- 西山杉利活用推進コンソーシアム(H26～)
県、西村山地域1市4町、素材生産・製材加工者、設計施工者等で構成。西山杉のブランド化に向けた課題の共有、具体的な施策等を議論
※ 西山杉集成材の商品化、サプライチェーン検討等
- 山形市産材ブランド化検討委員会(R2～)
市関係部署、林業事業者、製材加工者、設計施工者、有識者等で構成。山形市産材のブランド化に向けた具体的な施策等を議論
※ 基本方針の改正、山形市産材の認証制度の創設等



対応策

川上:地域材の増産(生産性向上・人材育成)

高性能林業機械や路網作設等生産基盤の充実・強化

- 高性能林業機械の導入促進(R4計画)
 - ・ 国庫補助による購入支援 … 2台
 - ・ 県単補助によるトライアル(レンタル)支援…10台
 - ※ 村山管内の高性能機械保有台数 H29→R2:倍増
- 国庫補助事業等を活用した路網整備(R4計画)
林道:2路線 延長670m 作業道:延長13.7km
- 地域材の増産に向けた研修会の開催
 - ・ 冬季の素材生産技術を習得する研修会(R4.1)
 - ・ 高性能林業機械の効率的な組合せ等の研修会(R4.6)



高性能林業機械による玉切り



R4.6の研修会のようす

原木ストックヤードの整備検討

- 需要に対応した原木を安定的に供給するために、中間土場(ストックヤード)の場所、規模、機能等を林業事業者、流通事業者等が連携して検討

緑の雇用事業等を活用した新規就労者の確保

- 新規就労者の確保・育成を目的に、3年間の研修を国が支援
R3実績:新規就労者 9名(研修生全体 15名)

◎ 村山管内の林業労働生産性を向上させる。(目標:R6 7.8㎡)
一人当たりの素材生産量 (H29)5.2㎡/人日→(R3)5.9㎡/人日

4 むらやま森林ノミクスの推進

川中:地域材製材品の高品質化(市場ニーズの対応)

天然乾燥土場の整備検討

- 天然乾燥材の安定供給を目指し、製材組合において共通土場の整備を西村山地区で検討
 - ・ 天然乾燥材の土場試験は実施済み。現在、事業主体、資金調達方法、土場の場所などの整備手法について検討中



人工乾燥材の製材状況

既存人工乾燥施設との連携

- 管内に人工乾燥施設が少ないことから、近隣の既存の人工乾燥施設と一部連携した取り組みを始めており、今後一層の連携強化を図る。

設計施工者とのマッチング

- 具体的な公共施設等の物件ごとに、素材生産から製材、乾燥、製品化までのサプライチェーンを構築し、設計施工者等と情報共有する取組みを実施
- 設計施工者が「地元の製材所が分からない」ことによる mismatch を解消するため、取扱製品、取扱量等の情報をまとめた地元製材所リストの作成、配布を検討

→ 品質の確かな集成材等の原木供給を一層強化していくことに加え、無垢材としての利用拡大にも力を入れていく。

川下:地域材の利用拡大(利用用途拡大)

認知度向上のためのPR強化

- 木造化、内装木質化等の優良事例の紹介
低層施設の木造化、大規模施設の内装木質化、木造とRC造のハイブリッド構造などの優良事例を、現地視察の実施により、行政、素材生産者、製材者、設計施工者へ広くPR(事例紹介等を行うHP作成などPR強化を検討中)



山形市南部児童遊戯施設 (RC造、一部木造)

県産材を使用した建築物の支援

- 県産木材を使用した住宅、店舗・事務所等の民間施設建築に対して支援
R4補正予算で支援額を拡大
※ 10月末現在:住宅42件(R3:31件)、民間施設3件(R3:4件)

内装材等構造材以外での活用促進

- 民間施設の地域利用を促進するため、オフィス等の内装木質化に興味のある民間事業者に専門のアドバイザーを派遣(R4総合支庁新規予算)
- 西川町では、公共施設の木質化を推進するため推進委員会を立ち上げ「西川町公共施設等木質化プラン」を策定(R3.12)。西川町役場庁舎内の木質化を実践



西川町の木質化の状況

むらやま木育

木育プログラムの開発

- 幼児教育や環境教育の専門家等で構成する「むらやま木育普及促進協議会」で、これまで11種類の木育プログラムを試行、検証し開発

木育インストラクターの育成

- 木育インストラクターを出前講座や子育て支援施設へ派遣
- 今後は木育プログラムの習得や指導技術、普及方法を学ぶ研修会を開催し、スキルアップを図る。



クリスマスツリーのプレゼント

子育て支援施設との連携

- 子育て支援施設への木育プログラムのポスター、リーフレット等の配布や本物の樹を使ったクリスマスツリーをプレゼント

「県民の森」木育体験ブースの情報発信

- R1から「県民の森」森林学習展示館の内装木質化や木製遊具等の設置により木育体験ブースを整備
- 今年度は木育体験ブースのSNSでの情報発信、市町への紹介パネルの配布等により利用拡大を図る。



木製ボールプール

西山杉と触れ合うツアーの開催

- 大江町の西山杉の伐採現場、製材工場、西山杉を活用した住宅を見学し、森林、林業、木材加工から住宅建設までの流れを体感する木育ツアーを開催

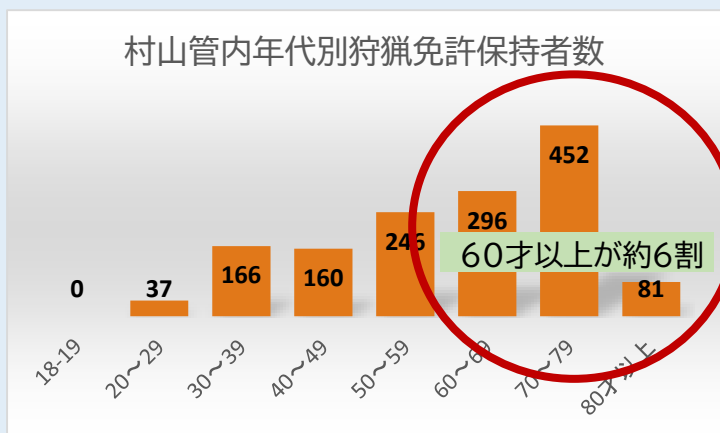


西山杉の伐採現場

5 ICT等を活用した農作物被害対策(鳥獣被害)

課題

- 鳥獣による農作物被害額は依然として高い状況
(村山管内の被害額:R2 332,338千円)
※近年、特にイノシシの被害額及び割合が増加傾向
- 鳥獣対策を担ってきた人材の減少や高齢化
➡ 捕獲従事者の負担軽減、新たな捕獲従事者の確保



鳥獣対策についての地域の声

- 高齢化に伴う新たな担い手の確保に向けた事業展開が必要
- 猟友会の会員は、少しずつ増えてはいるものの、多くの方が普段仕事をしており、わなの見回りなど、実施隊の人員不足が課題
- 電気柵は有効な被害防除策である一方で、柵の設置や撤去、定期的な除草などの作業が農家の大きな負担
- 電気柵等の被害防止対策を講じても、対策を行わない農地が多いなど地域内の環境整備が整っていない場合、個人での対策には限界がある。
- 捕獲後の埋設場所確保や処分が捕獲従事者の負担となっている。

取組み

最新技術(ドローン・ICT)を活用した鳥獣被害対策の省力化



ドローン撮影による集落点検
(山形市山寺地区)



ICTわなの実証
(朝日町大谷地区)

- **ドローンを活用した集落環境点検及び生息状況調査実証**
ドローンにより撮影したデータを解析し、集落環境点検及び生息状況調査を実施。その結果を踏まえた研修会を開催し、鳥獣被害対策の推進及び省力化に向けた検討を行う。
 - 夜間の獣類の出没状況をドローンで確認
 - 住民の負担が大きい集落環境点検(けもの道や農作物の被害の状況等の確認)をドローンを活用して実施
 - 効果的な侵入防止柵の設置場所を検討
- **ICTわな(捕獲通報システム)の実証**
イノシシ用わなに子機を装着、捕獲動作を感知すると親機を経由してスマートフォンにメールで通知するICTわな設置の実証を行い、捕獲従事者のわな見回り作業の負担を軽減

地域住民の感想

- 人が踏み込めないところも撮影され、地区全体を把握できる。
- 夜間に赤外線撮影された動物の画像で被害対策の必要性を実感した。
- ドローンを簡単に操作できるかは課題
- わなの設置は山中などアクセスの悪い場所に行くことが多く、見回り回数が減り(3分の1程度)、従事者の負担が軽くなる。

新たな捕獲従事者の確保に向けた支援

- 新規狩猟免許取得志望者向け講習会への補助
- 新規狩猟者の銃等の物品購入経費補助

H28以降、毎年300人程度の新規狩猟免許合格者が出ている。合格者の平均年齢も下がってきており、若者も増えてきている。

地域全体で取り組む鳥獣被害対策と他地域への展開

- 地域の生産者や住民等が一体となり、外部アドバイザーからの助言・指導を受けながら総合的に電気柵設置などの被害対策の取組みを実践

イノシシ等の埋設場所の確保・負担軽減に係る取組み

- 業務委託でイノシシの埋設溝を設置(山形市)
- 重機とオペレーターを町が手配し、捕獲従事者のイノシシ埋設処理を支援(大江町)

6 地域の話題

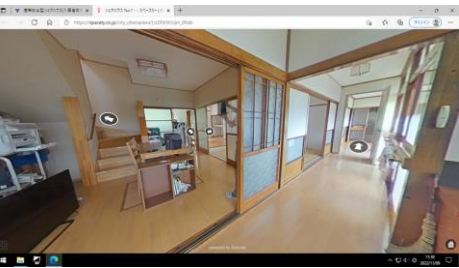
【デジタル技術の活用】

空き家内覧にVRを活用(尾花沢市)

- 空き家バンクのサイト内で、360度カメラで撮影された家の中や周辺の画像を360度自由に閲覧可能に。【**県内自治体で初導入**】
- VR画像追加後はサイト閲覧数が上昇。豪雪に見舞われる冬季でも手軽に空き家の内覧が可能

補助金等の見込額の自動診断システムの導入(山形市)

- 国、県、市の各種支援制度について、該当項目をチェックすることにより、受給見込みの総額や対象となる制度が表示されるシステムを導入。市HPで誰でも無料で利用可能【**県内自治体で初導入**】



【地域農産物の利用拡大】

秋のやまがた野菜・イタリア野菜 料理フェアの開催

- やまがた野菜、イタリア野菜を使ったオリジナル料理を提供する秋の料理フェアを11/5～27に開催(夏に続く今年度第2弾)

やまがた野菜(セルリー)の収穫体験の実施

- 東北一の産地となっているセルリーの収穫体験を10/23に実施。11組22人の幼児、小学生と保護者が参加

「美味しむらやま」見本市の開催

- 村山地域の農産加工品の展示商談会である「見本市」を1月下旬に開催予定



【観光誘客の取組み】

東北中央自動車道開通記念スタンプラリー

- 東根北-村山本飯田の開通を記念して、主に関東方面の誘客を図るため、北村山3市1町の周遊を促すスタンプラリーを実施
- 賞品: 銀山温泉宿泊利用券(尾花沢市)、グランピング施設利用券(村山市)、郷土料理食事券(東根市)、だんご商品券(大石田町)
- 期間: R4.11.19～R5.1.10



銀山温泉「千年廻廊」

- ブランド価値の向上を図るための事前予約者限定(宿泊客は除く)のライトアップイベント(平日は当日券あり)。
- 期間: R4.10.25～12.4



【安全・安心のみちづくり】

主要地方道大江西川線 貫見バイパスの開通

- H24に着手した大江町貫見～沢口間がR4.11.19(土)に全線開通
- 大雨・大雪等による集落の孤立が解消されるとともに、柳川温泉などへのアクセス向上による観光振興に期待

